

百里農民の信念を忘れない。航空自衛隊百里基地（小美玉市）の敷地に食い込むように位置する基地反対運動の拠点「百里平和公園」に2月、憲法9条の精神を伝える「百里・憲法9条の碑」が建てられた。自公政権による防衛費膨張が

止まらない中、戦後に中国からこの地に引き揚げ「戦争は二度としない」と基地建設に反対した農民たちの思いを伝えている。3日は憲法記念日。

(長崎高大)

# 「戦争は二度としない」

百里基地隣接地「9条の碑」建立



裏面に百里基地反対運動の歴史をつづった9条の碑を案内する伊達さん＝小美玉市で

## きょう憲法記念日

碑は、護憲活動や百里基地存続に反対する団体などをつくる実行委員会が建立した。「9条の碑」は全国に32カ所あり、自衛隊基地の隣接地では初という。

「素直に、正直に読めば、自衛隊は違憲だ」。公園を管理する「百里の会」の伊達郷右衛門会長(82)は、現政権の軍拡に異を唱え続ける。伊達さんも基地の反対運動に長く関わってきた1人だ。東京都出身だが、1974年に旧内原町(現水戸市)に移住して以来50年、運動に参加してきた。

伊達さんによると、百里地区には戦後、旧満州(現中国東北部)からの引き揚げ開拓民約1500人が入植し、農業を営んだ。「開拓民の中には、ソ連軍の満州侵攻から逃

## 農民の反対運動拠点に信念刻む

げる途中、それまで日本人が加害してきた中国人に命を救われる事例があった。そのこともあり、百里の農民は「国家のために殺し合う戦争は二度とためだ」と考えてきた。伊達さんは反対運動の源流を、そう語る。

56年に防衛庁(現防衛省)が航空自衛隊の基地建設を発表すると、激しい反対運動が起きた。その後、多額の土地代と引き換えに多くの住民は去ったが、最後まで用地買収に応じなかった区画が、平和公園となった。このため基地の滑走路は現在も「くの字」に曲がっている。

伊達さんは「戦後、日本は自発的な戦争を一度も経験しておらず、戦死者を出していない。これは憲法9条のおかげだ」と訴えている。そうした9条の精神をさらに広めようと、新たな碑を建てることにした。

岸田政権は防衛費を年々拡大させ、2024年度は国内総生産(GDP)比で1.6%の8兆9千億円に上る。歴代政権はGDP比1%を目安としてきたが、現政権は27年度に欧米主要国並みの2%まで増やす方針に転換している。

「いまでは自衛隊を違憲という意見はほとんど聞かなくなりましたが、30年前、40年前の学者は当たり前のように違憲と言っていた」と伊達さん。

「ほとんどが戦争を知らない世代となったいまこそ、9条、そして憲法の前文を正しく理解しないといけない。その上で、いまの軍拡路線がおかしいと気付いてほしい」と呼びかけている。

水戸の射撃暴力団幹部殺人銃刀

水戸市で20

定抗争指定暴

組幹部が射殺

で、県警は2日

刀法違反の疑

い団幹部全

金成行容疑者

た。水戸署の

は記者会見し

「努める」と述

べ

送検容疑は

午後1時45分

の山口組系事

達也幹部＝当該

などに拳銃を

幕張メッセ

能登半島復

きょう

フリーマール

ント「ビアア

ents 幕張

きょうフリー

13～  
ンタ  
訊いた  
運など

matsu (インスタグラム)  
★おいしいコーヒーの淹  
(い)れ方 25日前11時～後12  
時半。水戸市の県庁展望フロア  
のパンダマーケット。ジャパ

